

## 実際の看取り事例の 発表会を開催

2015年11月には、施設や在宅で実際の看取り事例の発表会を行いました。その中の事例の一つとして、認知症の奥様と二人暮らしをされていた方の終末期の支援です。最後は病院へ入院されましたが、ご本人の想いを尊重してギリギリまでご自宅で生活をされていました。病院か自宅か、その判断は簡単ではありませんが、日常の支援から十分にコミュニケーションを重ねて、ご本人の思いや価値観を丁寧に理解していくこと、またご本人の言葉を含めた情報を多職種で共有していくことが重要であることを参加の皆さんが確認しました。

## 映画「ペコロスの母に会いに行く」上映会を開催

2016年12月10日には、認知症になっても安心して暮らせる家や地域にしていきたいという思いを込めて、映画「ペコロスの母に会いに行く」の上



▲上映会への思いも書かれたチラシ

映会を開催しました。この映画ではごく自然に、認知症のある日常が描かれた母と子の物語です。特別ではないどこにでもある何気ない毎日。切ないけれど寂しくも暗くもない優しい時間。この映画の上映会を通して、見てくださった方が、もし自分が認知症だったらどんな風に関わって欲しいか、どんな世の中にならなくて欲しいか考える動機づけにさせていただくことが狙いでした。

広報にも力を入れ、ポスターやチラシを刷って近隣のスーパーや銀行、マンションなどいろんなところに配りました。制作費用は地域の病院や施設に協賛をお願いし、資金づくりも自分たちで行いました。上映後は「感想を伝えて原作マンガをゲットしよう」という景品付きのディスカッションを行いました。おかげさまで356人の来場がありました。

## 住み慣れた地域で 安心して暮らし続けるために

2017年は東近江市永源寺地区で包括的な地域医療に取り組む医師の花戸貴司さんをお招きして講演会を開催しました。病気だけではなく「その人の人生を最後までみとどけよう」という思いから地域に向き、看護師やヘルパー、薬剤師など様々な人と手を組み互いに支える医療を通じた「まちづくり」を実践され、「永源寺が専門です」と話されるほど、地域を知り、信頼関係を結ばれています。

地元の人々と一緒に築き上げていく日々のことや患者さんとの関係、在宅の看取りなどについてお話しいただきました。一般・専門職合わせて188人が来場しました。

このように、過去4年に渡り勉強会や啓発活動を行ってきたおかげで専門職間にあつた垣根は低くなり、情報共有も進んできました。その結果、私たちの意識も大きく変わりました。それが住民の皆さんに広がっていけばもっと住みよい地域になるはずですが、誰もが安心して暮らせるまちは目指してこれからも努力を続けたいと思います。

## 今回お話をうかがった、OKミーティングのメンバーの皆さん

ネットワーク全体の中で、自分の立場や役割を再確認しました

**加納 三香子さん**  
医療法人湖青会  
介護老人保健施設ケアセンター志賀  
支援相談員 介護福祉士 介護支援専門員

介護分野の知識も増え多様な相談の窓口になっています

**中田 洋子さん**  
株式会社ルックトイ薬局  
和辻支店 薬剤師

顔の見える関係のおかげで情報共有や相談がしやすくなりました

**森 美穂さん**  
医療法人弘英会  
琵琶湖大橋病院 診療局 コメディカル部  
リハビリテーション科 科長 理学療法士